

マイタイムラインってなに？

「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

記載例などは
こちら



1 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。
状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則

早めの避難先

■ 自宅・親戚宅・知人宅・職場など
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■ 最寄りの避難所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

逃げ遅れたら・・・

■ 最寄りの水害時(津波)避難ビル
(最寄りの浸水しない安全な場所)
■ 高い建物や高い場所(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先①

〇〇区の祖父母宅

避難先②

〇〇小学校

避難先③

隣の高層マンション

2 避難を開始するまでに 何をするかを考えましょう。

やることを

情報収集

気象情報・避難情報を確認

避難の準備

- 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- 必要なものの買い出し
- 家財等の2階等への移動開始
- 家の周りの点検
- 飛ばされそうなものの片付け
- 窓の施錠の確認
- 携帯電話の充電
- 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

- 近所への声かけ
 - 避難の声かけをする
 - 一緒に避難する名前 隣のおじいさん
連絡先 (06) ××××-××××
 - 避難の声かけをする
 - 一緒に避難する
- 名前
-
- 連絡先
- 家族と連絡を取り合う
(離れている場合)
- 避難の支援者に連絡
(自力では避難が困難な場合)

その他

-
-

3 いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

- ▶ 2で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
- ▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

わが家の避難計画



記入欄 「いつ避難する?」「いつ何をするか?」

- 例) 非常持ち出し袋を再確認しておく [お母さん]
- ・テレビ・ラジオをつける [こどもたち]
 - ・非常持ち出し品・備蓄品を確認する [母]
 - ・避難経路・避難場所を確認する [みんな]
- 例) 避難場所を再確認しておく [みんな]
- ・家の周りの点検をする [父]
 - ・三輪車や植木鉢を家の中にしまう [母]
 - ・携帯電話の充電を確認する [父と母]
- 例) おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する
- ・家族と連絡を取り合う [みんな] この段階での避難先の目安 避難先①、②
 - ・隣のおじいさんに連絡する [母]
 - ・〇〇区の祖父母宅に車で避難する [母とこどもたち]
- 例) 〇〇小学校へ避難する [お父さんとこどもたち]
- ・〇〇小学校へ避難する [父] この段階での避難先の目安 避難先①、②
- この段階での避難先の目安 避難先③

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がくるとは限りません。
状況に応じた柔軟な対応が重要です。

避難完了後

避難後には、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法

携帯電話・災害用伝言ダイヤル等

家族の集合場所

〇〇区の祖父母宅

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。